

去年福島県の採択は13件。2面では応募方法も解説。

第 50 号

## サントリーグループが東日本大震災復興支援活動開始！ 岩手、宮城、福島県の3つの県で「みらいチャレンジ」に 取り組む個人団体を支援してくれます！只今募集中です！

・サントリーグループの「みらいチャレンジプログラム」は2021年に第1期をスタートさせ「岩手、宮城、福島」の3県で40のチャレンジを応援しています。そしていまその第2期の応援対象となる個人・団体を募集中です！  
・第2期の募集締切は、2022年5月9日（月）です。ちなみに去年の第1期の福島県での採択事業は13件でした。「子どもの居場所づくり」「旧映画館＜会津新富座＞支援」「夏井川渓谷サイクリングと鉄道の旅」「山都そばグレードアップ」と多彩な提案に加え「しゅふコミ＝地域主婦のコミュニティ創出」という個人提案もありました。

・「みらいチャレンジプログラム」は、地元や地域を元気にする事業なら分野を問いません。福島県の昨年の採択事業を見ても「子どもの居場所づくり」から「しゅふコミ創出」まで、実に多彩でした。下の画像と記事はそんな福島県の採択事業を紹介している募集パンフレットの一部分から再録したものです。「ワイン栽培を通じた人材交流」から「空き家を借り受けてのシェアハウス運営」まで、ユニークなチャレンジが紹介されています。なお、「みらいチャレンジプログラム」第2期の事業の支援期間は2022年7月1日（金）から2023年6月30日（金）までの1年間。この期間に実施される活動や事業が支援対象です。

### 地域活性化を目指す新しい活動を応援！ 支援期間は今年7月1日～来年6月末！

・サントリーグループの「みらいチャレンジプログラム」とは「岩手、宮城、福島」の3県の皆さんが「地域活性化に取り組む」ことを「応援するプログラム」です。



あなたの活動を支援します！  
新しい活動で東北をさらに盛り上げたい人、大募集！

IWATE  
MIYAGI  
FUKUSHIMA

#### 福島県

事業名 / 富岡町におけるワインづくりを通じての地域資源創出および人材交流活性化のための事業 活動場所 / 富岡町

団体 / 一般社団法人 とみおかワインドメーン

代表理事 遠藤 秀文さん

2016年3月、東日本震災を受け無人の町であった富岡町でワイン用ブドウの試験栽培がスタートしました。魅力ある故郷を再生するために、10名の有志が県内外の酒類先から選んだながらの土地、それから4年が経過し、初めてワインが完成しました。100年先の故郷の未来の可能性を切り開くため、日本で一番、海そして駅に近いワイナリーを目指しています。本プログラムを通じて富岡町内に未来の希望が着実に増えていくことを心より願っています。

事業名 / しゅふコミ 地域主婦が繋がるコミュニティの創出、さらに主婦を福島県の企業PR・マーケティング担当へ、主婦の力で福島県を全国へアピール！ 活動場所 / 郡山市

個人 / 横尾 恵美

代表理事 横尾 恵美さん

この度は選んでいただきありがとうございます。福島県の良さを全国の方に知ってもらいたい、そこに主婦の力を活かしたいそんな思いで活動しています。この事業でPRやSNSを学び新しい女性のキャリアもつくっていくと考えています。女性が輝き、福島県の未来が明るくなるように、次の世代にしっかりと引き継いでいくために頑張っていきます。

事業名 / これからの「暮らし」をつついく拠点「コクノヤ」設立プロジェクト 活動場所 / いわき市

団体 / 特定非営利活動法人 中之作プロジェクト

代表理事 坂本 政彦さん

中之作地区は、昔ながらの趣が今でも残る町です。11年前の震災では津波が地区を襲い、人的被害こそ少なかったものの、地区の高齢化・過疎化が一層加速しました。こうした地区で、当法人が住民の方から一軒の空き家を借り受け、みらいチャレンジプログラムのご支援のもと、市内外の若者が共同生活を送るシェアハウスに改修しました。今は4人の住人がおり、地域社会の中で自らの居場所と役割を見つけながら生活を送っています。

#### 【審査員】

同本 全勝  
市町村職員中央研修所長  
元復興事業次官

福迫 昌之  
東日本国際大学 副学長  
地域連携研究センター長

第1期の応募案件を見て、地域の活性化や社会的弱者支援に、さまざまな取り組みがされていること、社会のために頑張っている人がたくさんおられることに驚きました。福島も福屋を創っているのです。なかなかおもしろいと思います。このプログラムでそれらを社会に知ってもらい、応援できればと考えています。第1期はたくさんのお応募があり、審査に苦労しました。今年もたくさんのお応募を待っています。

#### 活動は新聞記事として掲載

福島民報2021年11月18日付

第1期助成団体を選定

「みらいチャレンジ」

「みらいチャレンジ」の採択事業が新聞に掲載されました。採択されたのは、みらいチャレンジの採択事業が新聞に掲載されました。採択されたのは、みらいチャレンジの採択事業が新聞に掲載されました。採択されたのは、みらいチャレンジの採択事業が新聞に掲載されました。

※この記事は福島民報社の社説を掲載しています

#### 新聞社のコメント

福島民報社は紙面などを通じてみらいチャレンジプログラムを福島県内で広く伝え、事業を呼び寄せました。採択づくりの取組が、さらに拡大・発展することを願い、決定した採択事業の活動をサポートしてまいります。採択事業がスタートするにあたって、採択された採択事業の活動が新聞に掲載されました。採択されたのは、みらいチャレンジの採択事業が新聞に掲載されました。

（審査員：取田 聡 株式会社福島民報社 取締役 いわき支社長 兼 兼通リ創生局長）



# 「地域のお祭り再開」「地元産品で新商品開発」「子ども達の居場所づくり」・・・選定ポイントは「郷土愛」や「チャレンジ精神」か。上限100万円！

## 地域を元気にする活動なら分野を問わず 主催者が団体か個人かも問いません！

・下の画像は「募集パンフレットの一部」を再録したものです。細かい本文はともあれ「見出し」を見るだけでも、この「みらいチャレンジプログラム」が「岩手、宮城、福島」の「新しい挑戦を応援したい」というスピリットに満ち溢れていることが伝わってきます。

SUNTORY 東北アンでも  
みらいチャレンジ  
プログラム

まるわかり  
**Q&A**

**Q** どのようなことが、支援されますか。

**A**

岩手県・宮城県・福島県内で実施する  
地方創生や地元活性化を目指す新たな活動です。  
個人・団体は、問いません。

たとえば、商店街での町おこしの取り組みや  
地域コミュニティの活性化など。  
岩手県・宮城県・福島県を  
盛り上げる活動をご応募ください。  
支援期間は、2022年7月1日(金)から  
2023年6月30日(金)の1年間。  
この期間に実施する活動を対象としています。

**応募条件をチェック!**

応募時点で次の①から③に掲げるすべてを満たす団体・個人を対象とします。

- ①常時連絡が可能な状態である
- ②応募する活動が岩手県・宮城県・福島県内での活動である
- ③岩手県・宮城県・福島県内に主たる活動拠点がある

※既に活動中の団体・個人も対象です。※団体の応募は、1団体1件とします。

**対象事例**

- 地域に根ざしたお祭りやイベントの再開などの新しい挑戦
- 地元産品を活用した新商品開発
- 地域の新たなコミュニティの創設
- 次世代育成への取り組み
- 地域の魅力発信に向けたインベーション事業 など

**Q** 支援金額は、どれくらいですか。

**A**

総額は約3,000万円。  
1団体あたりの上限額は100万円。

上限金額は100万円ですが、支援対象となる経費は事務局経費、スタッフ人件費、備品費、消耗品費、広報・通信費、資料費・印刷費、謝金等です。そのため、採択されても支援額を全額支援できない場合があります。  
また、審査で費用項目を限定する場合があります。詳細は、みらいチャレンジプログラムのホームページにてご確認ください。

**Q** 選考のポイントはどこですか。

**A**

地域活性化、郷土愛・チャレンジ精神、波及効果。

各分野の学識経験者や専門家等で構成する選考委員会が厳正に審査し、支援者・支援団体を選定します。  
※各委員の委員の方々は中国をご参照ください。

このPOINTは  
**地域活性化**

地域社会に貢献し、  
そこに暮らしを築く  
人たちの笑顔が  
増えることをイメージできる。

このPOINTは  
**郷土愛・  
チャレンジ精神**

異業種・異世代とつながった  
活動の推進や世代継承、  
もしくは新たな視点で  
発展させるチャレンジ精神が  
感じられる。

このPOINTは  
**波及効果**

実践エリアだけでなく、  
他地域にも  
影響を与えられることが  
想像される。

**【選考の流れ】**

2022年5月9日	募集締切
5～6月	審査
7月中	決定
	審査結果通知 奨励金贈呈
2023年1月	中間報告書提出
8月	活動報告書提出

**高橋 隆子**  
公益社団法人  
日本フィランソピー協会  
理事長

第1期は各県から数多くの申請をいただきました。申請書類から、各地で、故郷への思いを力に、地域の課題に取り組む熱意が感じられ、各地域に注目が集まっています。中には、コロナの影響で、活動が停滞していた地域に、活動再開のきっかけを、こちらが提供した地域もありました。奨励金を届けた40団体/個人の皆さんは、コロナの状況下でも、未来に希望を持ち、工夫し、つつ活動しておられます。第2期も地域のチャレンジを応援させていただきますので、地域を明るく元気にするようプロジェクトをお待ちしています。

※選考の流れは予告なく変更になる場合がございます。  
※2022年7月中に応募者本人・団体に審査結果を通知し、応募書類に記載された応募者本人・団体名義の奨励金口座へ、奨励金を送金します。  
【その他 注意事項】  
● 奨励金の使途については、活動レポート(所定の書式)を申請した活動終了後2か月以内に事務局に提出いただきます。

SUNTORY 東北アンでも  
みらいチャレンジ  
プログラム


**応募方法**

応募は、カンタン3STEP。書留あるいは宅配便でお送りください。

**STEP1**

みらいチャレンジプログラムホームページより  
応募書類をダウンロード

ダウンロードはこちらから



**STEP2**

応募書類に必要事項を記入

**STEP3**

書留・宅配便等で送付

封筒等のうらに「サントリー東北サンさんプロジェクト みらいチャレンジプログラム」と  
朱書き配達記録が残る方法でお送りください。

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル244 公益社団法人日本フィランソピー協会  
「サントリー東北サンさんプロジェクト みらいチャレンジプログラム」事務局  
TEL: 03-5205-7580

**応募期間**

2022年3月8日(火)～5月9日(月)当日消印有効

**お問い合わせ先**

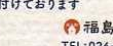
公益社団法人日本フィランソピー協会  
「サントリー東北サンさんプロジェクト みらいチャレンジプログラム」事務局  
TEL: 03-5205-7580(月～金 10:00～17:00) メールアドレス: [suntorymirai@philanthropy.or.jp](mailto:suntorymirai@philanthropy.or.jp)

「サントリー東北サンさんプロジェクト  
みらいチャレンジプログラム」ホームページはこちら

みらいチャレンジプログラム



【お問い合わせ】各新聞社でも受け付けております

 岩手日報社 TEL: 019-653-4118	 河北新報社 TEL: 022-211-1318	 福島民報社 TEL: 024-531-4161
--	---	---

発行元: サントリーホールディングス株式会社 CSR推進部 発行: 2022年3月

選定は「地域活動復活」「次世代への継承」がポイントになりそう！

配達記録が残る「書留」や「宅配便」で送りましょう！

「応募書類」のダウンロードは「支援センター」がお手伝いします！お気軽にお問い合わせください。

・「応募方法」には「STEP 1」「ホームページより応募書類をダウンロード」とあります。でもパソコンやネット操作に慣れていないと意外と手間取ります。不慣れな場合は「支援センターでお手伝いします」。「USBメモリー」をご持参くださればその場でホームページにアクセスし「応募書類」をダウンロードの上ご持参の「USBメモリー」に保存して差し上げます。なお地震被害のため当面は4階仮事務所で執務しております。ご了承ください。

### 伊達市市民活動支援センター

伊達市役所梁川総合支所庁舎4階仮事務所

開館：月曜～金曜 午前8：30～午後5時15分（木曜は午後7時まで）  
休館：土・日・祝 電話 024-563-6970 FAXは当面停止しています